

第 14 回関東 MIST 研究会 開催報告

2022 年 2 月 19 日（土）に第 14 回関東 MIST 研究会を東京丸の内 JP タワーホール&カンファレンスより Web 配信という形で開催させていただきました。Web 配信のおかげもありまして北は北海道から南は沖縄まで全国からのご参加いただき、参加人数は最終的には 79 人とたくさんの方々に楽しんでいただくなか、無事終了できましたのでご報告いたします。

前回は 2 年前の 2 月に会長として研究会を準備し、あとは当日を迎えるのみとなった段階でコロナ感染症が拡大し、直前にやむなく中止となりました。今回もオミクロン株の拡大をうけて開催を躊躇いたしましたが、関東 MIST 研究会会長の日方先生の「今回は開催することに意義がある」という言葉に後押しされまして無事当日を迎えることができました。

今回も多くの方々に富んだ演題の発表をいただきました。一般演題はひとつひとつ実に興味深い発表を 9 演題発表いただきました。会場からの質問だけでなくチャット形式からも多くの質問が飛び交い、久々の研究会での討論を皆様楽しんでいただけたようです。ショートレクチャーは 2 演題、船橋整形外科の小島敦先生より「BKP+PPS 適応と手技のコツ」について、東海大学医学部整形外科の檜山明彦准教授より「Single position circumferential lumbar interbody fusion -実践のために知っておきたいこと-」をご講演いただきました。いずれも研究会ならではの手術手技の工夫についてわかりやすくご講演いただき、明日からの臨床に生かせる素晴らしいご講演でした。

特別講演 I は国際医療福祉大学医学部整形外科の船尾陽生准教授より「低侵襲骨盤固定術のこれまでとこれから」をご講演いただきました。仙腸関節の解剖学的特徴から S2AI スクリューの実際刺入の工夫まで、これぞ研究者というアカデミックなご講演をいただきその有り余る探求心に感服いたしました。

特別講演 II は富永草野病院整形外科の澤上公彦先生に「脊椎固定術を成功に導くための骨粗鬆症治療戦略 - 骨組織動態から考える-」をご講演いただきました。残念ながら新潟からの Web での講演となってしまいましたが、脊椎手術に際して骨粗鬆症治療薬をどのように使用したらよいかをわかりやすくご講演いただきました。澤上先生には前回 2 年前に脊椎外傷に対する MIST についてご講演いただく予定でしたが、今回は骨代謝基礎研究を臨床の現場につなげる熱意溢れるご講演でした。その見識の広さに驚くとともに忙しい臨床業務の合間を縫って基礎研究を続けていらっしゃる姿勢に敬服いたしました。今後ますますのご活躍を祈念しております。

Best paper award には東海大学医学部整形外科の服部伸昭先生の「DISH 骨折に対して 3 次元ロッドベンダーを用いた lateral spine surgery を行った 1 例」が選出されました。これぞ MIST という手技を組み合わせたご発表で、研究会として発信すべき内容であると評価され受賞となりました。

第 14 回となります本研究会を無事終了できましたのも、多くの先生方や共催いただきました企業の皆様のおかげと存じます。ご多忙のなか御参加・御発表いただきました皆様には改めまして心より感謝申し上げます。

次回の第 15 回関東 MIST 研究会は東京大学医学部整形外科の大島寧准教授が会長となり 2022 年秋の開催を検討しております。本来、関東 MIST 研究会は現地で活発な討議を繰り広げ学閥を超えて親睦を深めることができる研究会ですので、次回こそは現地開催で皆様とお会いできる事を祈念しております。

第 14 回関東 MIST 研究会

当番世話人

調布くびと腰の整形外科クリニック

塩野雄太

MISt 第14回 関東MISt研究会

第14回 関東MISt研究会 MISt

会長
塩野 雄太
(調布くびと腰の整形外科クリニック 副院長)

